

優秀実践校、団体の紹介

○ 亀山市立野登小学校

(かめやましりつこのぼりしょうがっこう)

地域ボランティアや学校司書による読み聞かせや本の配置などの環境整備、児童による読み聞かせや、図書館祭り、週単位で家族から家族へと本を読みつなぐファミリー読書リレー、学校図書館活用アドバイザーによる「情報活用能力の育成」に関する授業が行われています。

また、市立図書館とも連携し、読み聞かせや調べ学習に利用しています。

○ 津市立倭小学校

(つしりつやまとしょうがっこう)

児童図書委員による図書館イベント、学校図書館ボランティアによるイベントや読み聞かせ、学校司書によるオリエンテーションなど、教職員、司書教諭、学校司書、学校図書館ボランティアが連携を密にして実施しています。

10年以上続いている朝の10分間読書は学校の伝統として定着しているほか、夏休みには、家庭での読書活動である家読(うちどく)を全家庭で取り組んでいます。

○ 三重県立鳥羽高等学校

(みえけんりつとばこうとうがっこう)

教員と学校司書が連携して、授業に必要な図書資料を生徒に紹介し、資料を手に取りやすいレイアウトで配置する工夫をしています。

全生徒を対象とする読書習慣キャンペーン、文芸部員を中心とするビブリオバトルのほか、新聞のコラムを読むリーディングマラソン、俳句展示や元号予測、江戸川乱歩に関する文化講座といった企画展示など、多様な取組を通じて生徒の読書活動を推進しています。

○ 鳥羽おはなしの会「ミルキーウェイ」

(とばおはなしのかい「みるきーうえい」)

平成4年に鳥羽市立図書館において開催されたストーリーテリング講習会をきっかけに職員と受講生で発足し、鳥羽市立図書館や鳥羽市や伊勢市、志摩市の小学校や児童館でおはなし会を開催しています。

平成24年からは鳥羽市立図書館のストーリーテリング講習会の講師を、平成26年度から皇學館大学司書教諭課程のゲストティーチャーを務め、読書活動の普及及び後進の育成に尽力しています。